令和5年度 前期 せせらぎ (学校評価) アンケート集計結果について

保護者の皆様には、日頃より学校の活動にご理解とご協力をいただきまして、ありがとうございます。

7月にご協力いただきました、全校児童及び保護者を対象にした「せせらぎ (学校評価) アンケート」の結果をお知らせします。本校ホームページでも全項目のグラフを公開いたしますのでご覧ください。今後ともどうぞよろしくお願いします。

※評価段階は、すべて「はい」「どちらかといえば はい」「どちらかといえば いいえ」「いいえ」の4段階です。「はい」と「どちらかといえば はい」を合わせたものを肯定的な意見として考えました。

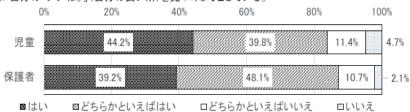
	質問項目	肯定的な意見(%)	
		児童	保護者
1	児:学校が、楽しい。/保:学校に楽しく通っている。	94. 1	97. 3
2	児・保:自分の「いいね。」を見付けようとしている。	84. 0	87. 3
3	児・保:目標をもってがんばっていることがある。	94. 1	90. 2
4	児・保:きまりやルールを守って生活している。	95. 9	94. 9
5	児・保:みんなと勉強をするのは楽しい。	93. 9	93. 1
6	児:授業が分かる。/保:授業が分かっている。	93. 9	88. 4
7	児:新しいことができるようになったり、分かったりするとうれしい。 保:新たに学ぶことを喜んでいる。	96.8	92. 0
8	児・保:家庭学習に進んで取り組んでいる。	87. 5	74. 1
9	児・保:読書に進んで取り組んでいる。	86.8	60. 0
10	児: <u>授業の中</u> でタブレットPCやプロジェクターを使って学習する。 保: <u>家に帰ってから</u> タブレットPCを使って学習している。	週1回以上 90.9	使っている 77.7
11	児:たてわり活動やペア学年の活動が楽しい。 保:自分のクラス以外の友達との活動を楽しんでいる。	95. 3	95. 6
12	児・保:係や委員会の仕事を進んで行っている。	91. 2	95. 9
13	児・保:友達の「いいね。」を見付けようとしている。	91. 9	92.8
14	児・保:ハンカチ・ティッシュを持ってきている。	78. 7	81. 9
15	児・保:地震や火事など、緊急の時に、自分の命を守るために、考えて行動することができる。	97. 6	81. 9
16	児・保:困ったことがあった時、先生たちに相談することができる。 児・保:安心して学校に任せられる。	86.8	98. 0
17	児・保:コミュニティ・スクールやふれあい協力員など、地域の方や保護者の方々が、 学校のためにボランティア活動をしてくださっているのを知っている。	88. 9	94. 7

【 アンケート結果から 】

1. 学校生活全般について

「児:学校が、楽しい。/保:学校に楽しく通っている。」の質問に対して、児童の94%、保護者の97%が肯定的に感じているという結果となりました。コロナ禍の制限された生活が終わり、1年生を迎える会や運動会を全校で行うことができるようになったり、休み時間も友達と思い切り遊ぶことができるようになったりと、子供たちが学校生活を楽しんで過ごしている様子が多く見られるようになりました。しかし、児童の6%、保護者の3%が、否定的

2. 自分の「いいね。」(自分の良い所)を見つけようとしている。



な回答をしていることを踏まえ、なおいっそう子供理解に努め、子供に寄り添った支援をしていきます。





令和5年度の原田小学校の重点目標は「あなたに『いいね。』自分も『いいね。』」です。これは、昨年度までの子供たちの様子や学校評価の反省より、原田小の子供たちが、友達の良さだけでなく、自分の良さに気付き、もっと自信をもって学習や学校生活に取り組んでほしい、という願いからのものです。今年度は、全校で「いいねの木」の活動を始めました。児童会が中心となり、自分の良い所が見つかったら、葉っぱのカードに書いて、一階中央廊下の木に貼り付けて、全校で「いいねの木」を大きくしていこうというものです。「自分の『いいね。』を見付けようとしている。」の質問に対し、児童の84%が肯定的に感じていました。昨年度末は、76%という結果でしたので、自分の良さを見付けていこうという意識が高まっていることが分かります。学級でも、友達の良い所を帰りの会で紹介し合うなどの活動が行われています。子供たちが自分や友達の良さを互いに認め合い、高め合っていけるような温かな仲間づくりができるように努めていきたいと思います。

躍はい

2. 学習面に関係したもの

「みんなと勉強をするのは楽しい。」の質問に対して、児童・保護者が93%の肯定的な意見という結果となりました。原田小では、「考えを深めていく子 ~個に応じた手立ての工夫~」をテーマとして、学習指導の研修を行っています。特に、「よく

口どちらかといえばいいえ

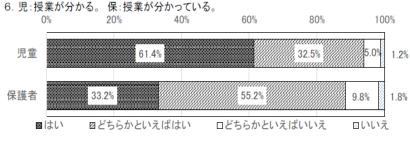
図いいえ

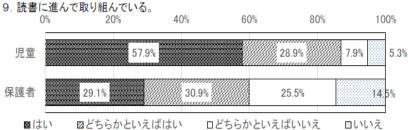
∅どちらかといえばはい

きく」ことを大事にし、子供たちが、自 分から学びに向かえるように、課題や手 立てを工夫し、授業改善に努めていま す。「児:授業が分かる。/保:授業が分 かっている。」については、児童93%、 保護者88%が肯定的な意見でした。子 供たちのやる気や授業での満足感がし っかりと習熟につながるように、学習 指導をしていきたいと思います。

また、「読書に進んで取り組んでいる。」については、肯定的な意見は、 児童86%、保護者は60%という結果 となりました。タブレットPCが導入

されて、読書離れが進んでいると昨年度まで 課題となっていました。昨年度後期は、児童 79%、保護者50%でしたので、改善傾向では ありますが、学校図書館を活用し、今後とも 読書の習慣化を図っていきたいと思います。







3. その他

「ハンカチ・ティッシュを持ってきている。」の質問について、児童は78%という結果となりました。子供たちの様子を見ていますと、トイレなど水道で手を洗った後、ハンカチを持参していないために、水滴がついたままぶらぶらと手を払っている子が多く見られます。また、給食時のマスクについても、コロナウイルス感染予防のためのマスクがいらなくなったためか、マスク忘れの子が目立ちます。給食の配膳時には、コロナ前から、食事に飛沫が飛ばないようにマスクを着用することになっています。もう一度、お子さんの持ち物の確認をお願いします。

「よりよい学校にするための提案」についてもご意見をいただきました。以下のような記述がありました。

- ・荷物(教科書・タブレット)が重い。
 - ⇒宿題に使わない教科書等は、学校に置いておいてかまいません。
- ・各種おたよりのマチコミによる配信
 - ⇒下校予定時刻や急なお知らせ等、活用するようにしていきます。
- ・学校での様子を知りたい。
 - ⇒電話・連絡帳でのご相談に加え、月に1度の教育相談日をご活用ください。

いろいろなご意見をありがとうございました。学校と家庭・地域が協力して、原田小学校の子供たちがより良い成長に向けて努力していけますように、今後とも、ご理解とご支援をよろしくお願いします。